

## 山本邦山氏を迎えての合奏講習会&コンサート



新年おめでとうございます。

代表理事 田村拓男

「NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21」の設立は、2003 年（平成 15 年）8 月ですから、今年創立 11 年目を迎えることとなります。全国には 40 の支部があり、東京本部との連携も保ちながら、それぞれが独自の活動を展開しています。

昨年は嬉しいニュースがありました。北九州支部の東島啓子会員が北九州市民文化功労賞を受賞、また、下関支部の松崎妙子会員も市の小・中学校での指導や長年の文化活動に対して下関市から文化功労賞受賞。東京調布市では現役高校二年生の浅野宏樹君（都立若葉総合高校 2 年）と風間禅寿君（都立狛江高校 2 年）が平成 24 年度調布市青少年表彰（社会福祉活動・青少年団体活動協力）を受賞しました。これらは邦楽指導者が NPO に結集して地域の音楽発展に寄与しようという姿勢が信頼と評価を生んでいると思われま

す。当法人の大きな事業は何といっても毎年 5~6 月頃、全国から会員非会員ら 100 数十名が集まって河口湖などで開かれる「合奏講習会&コンサート」です。新しい合奏曲を体験して各地に持ち帰り輪が広がっています。講習会ではそれぞれの楽器に分かれて綿密なパート練習の後に大合奏に入りますので効率的で良い仕上がりに導かれます。講習会へのゲストも藤原道山氏が毎年のように参加してくださっていることはありがたいことです。今年は人間国宝山本邦山氏と真山氏が参加される予定で、身近で指導を受け体験できることは尺八奏者のみならず参加者すべてにとっての貴重なチャンスとなります。

### 下関市功労者表彰（教育文化功労）を受賞して

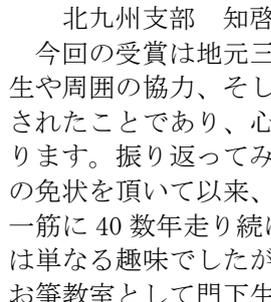


下関支部 箏友会代表 松崎妙子  
平成 25 年 11 月 28 日、下関市生涯学習プラザ宙のホールにて、中尾市長から「下関市最高の表彰です」との言葉と共に、表彰状と純銀製の七宝焼教育文化功労章（勲章）と略章（バッジ）および銀杯を戴きました。華やかな式場であまりの事の大きさに私がこのような立派なものを書いて良いのだろうか

と今後の責任の重さを感じながら、大変に緊張いたしました。これも偏に NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 のご指導に大きな力を戴いたおかげであり、また多くの方の励ましやご尽力があつての事と心より感謝申し上げます。これからも会員ともどもよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。



### 第 1 回北九州市民文化功労賞（伝統芸能部門）を受賞して



北九州支部 知啓会代表 東島啓子  
今回の受賞は地元三曲協会の推薦、門下生や周囲の協力、そして NPO の活動が評価されたことであり、心から感謝いたします。振り返ってみると、22 歳で師範の免状を頂いて以来、ずっと思ひはお箏一筋に 40 数年走り続けてきました。初めは単なる趣味でしたが、結婚してからはお箏教室として門下生を持ち、イベントや学校授業、ボランティア等、全て楽しくやってきました。

平成 15 年に NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 が発足して以来、未来への架け橋として普及活動に力を入れ始めました。文化庁事業「伝統文化子ども教室」、「文化芸術による子供の育成事業（派遣）」「伝統音楽普及促進支援事業」などに取り組めたのは、NPO に所属して、いろいろなご指導を受けたり、最新の情報を頂いたりしたおかげです。既に 66 歳を超えましたがこの歳になつて、邦楽を広めることが天命だと感じています。年齢と共に責任のある役割を頂いて重責を感じながらも、その為に尽力できる環境と仲間を本当に有難く幸せに思います。これからも後進の指導に努めながら頑張ります。



### 調布市青少年表彰を受賞して



風間禅寿（高 2）  
僕は小さな時から門傳良男師匠のもとで稽古をしてきましたが、まさか賞状が頂けるとは思ってもいませんでした。僕にとってはボランティアという感覚はなく、ただ練習に没頭してきましたが、受賞した今は、地域とかを見据えた音楽活動をしたと思っています。また新たなことにもチャレンジして邦楽の可能性を存分に楽しんでいこうと思いますので、今後とも応援よろしくをお願いします。



### 調布市青少年表彰を受賞して



浅野宏樹（高 2）  
小学校四年の時から風間と稽古をしてきて二人共ここまで続けて同じ賞を受賞することができてとても嬉しく思っています。がここまで続けてこられたのも、風間という相方がいて師匠という恩師がいたからだと思います。今は高校の部活が忙しくて稽古に参加するのがやつのスケジュールではありますが、これからも続けていくつもりです。これからも相方と共に稽古に精進して行きます。

熊本お琴教室 古川郁代の軌跡  
NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 理事 古川郁代



1962 年、古典(地唄)の伝統あるこの熊本で新曲を中心に「熊本お琴教室」を始めました。あれから 50 年という月日がまたたく間に過ぎて行きました。振り返ると私が箏演奏家として挑戦した宮田耕八朗氏とのジョイントリサイタルは 1978 年から 20 回継続致しました。海外公演はスコットランドにおける国際ユースオーケストラフェスティバル参加や「熊本箏アンサンブル」を率いてドイツ・オーストリア・スイス・アメリカサンアントニオ公演、また熊本

交響楽団のソリストとして中国にて公演も致しました。指導者の資格を取得した門下生たちにより阿蘇、菊池、玉名などに琴教室の分室が誕生し、大勢の孫弟子が育ったことは私のかげがえのない宝です。また「邦楽鑑賞万人運動」を提唱して、学校公演を定期的実施致し、その実績に対して熊本県より「1980 年度熊本県文化懇話会新人賞」を頂いたことは現在のお箏活動につながる大きなエネルギーとなりました。1987 年、県下の箏曲家に呼びかけて「熊本箏演奏者協会」を発足させ、25 周年四半世紀の区切りとして 2012 年「箏曲の祭典 25 周年記念演奏会」を開催しました。流派の伝統を重んじる邦楽の世界で、他流派との合同演奏も回を重ねるごとに年々出演者・関係者が増え、現在では出演者が 500 人という規模まで盛り上がってまいりました。これはこの活動が熊本に根付いてきたひとつの表れだと思えます。2003 年 8 月 NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 を田村拓男氏・長沢勝俊氏と共に 20 名で設立しました。事務局を東京都港区と熊本に置きその年の 12 月、内閣府に認証されました。私達は熊本支部として文化庁委嘱事業「伝統文化こども教室」「学校への芸術家派遣事業」などを市内の小・中・高等学校にて数多く実施させていただき、現在に至ります。NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 は年々各地ですばらしい活動を展開しております。これからも益々この NPO が皆様の地域の伝統文化の発展と継承にお役にたてますよう念じてやみません。



## 会員の活動報告

### <古典の会にて>



平成 25 年 11 月 4 日(祝)高石市民文化祭で(たかいしアプラホールにて)「古典の会」に出演致しました。曲目は八橋檢校作曲「六段の調べ」、佐藤義久作曲「木の葉」、野村正峰作曲「錦秋」を演奏いたしました。一年に一度の「古典の会」に参加してもう 35 年になりますが、これからも毎年参加して箏曲の楽しさを皆様にお伝えできればと思っております。

和泉支部箏糸会 代表 今村慶子

### <調布三曲協会の勉強会で「童謡・唱歌メドレー」を>



私が所属する調布三曲協会は、昨年創立 50 周年を記念して福嶋頼秀先生に作曲を依頼、調布にゆかりのある景色を織り込んだ『三曲合奏のための「恋物語」』を初演し、会の大切な曲となりました。今年は、11 月 10 日に第 58 回市民文化祭を終えました。日頃会員達は、学校での指導や施設での演奏にも力を注いでいます。来年 3 月の勉強会では、福嶋先生編曲「童謡・唱歌メドレー」に取り組む事になりました。会員達は、ボランティア演奏で弾くこのような曲を何より待ち望んでいましたので、これからの合奏練習を楽しみにしております。

調布三曲協会会長 柴田裕子

### <音楽と講演の集い>



平成 25 年 12 月 7 日(土)狛江市出身のフジテレビアナウンサー笠井信輔さん女優の紺野美佐子さんの講演と箏曲正音会の演奏で狛江市人権啓発事業「音楽と講演の集い」が開催されました。高橋都彦狛江市長のご挨拶に始まり、お琴 12 名のアンサンブルがポップスやラテンそして初音ミクの音楽とクリスマスソングで会場を和やかに演出し、第 2 部はゲストのお二人それぞれの体験談と人権に関連したお話をされました。会場いっぱいのお客様は静かにそして深くうなずいてお話を聞き入っておられました。紺野美佐子さんは国連開発計画親善大使としても大活躍されています。

狛江支部 箏曲正音会 新井久代



### <富士山のふもとでお琴の活動>



平成 18 年に鳴沢村総合センターにて「鳴沢子供しゃくなげ教室」を開校しました。保育園年長組から小学生までを週一回ボランティアで教えています。目標は全員、挨拶がいつでも、どこでも、誰にでもしっかりできること、小学校卒業迄に「六段の調」を合奏する事です。毎年 3 月に「芸能祭」などで「さくら」「かぞえうた」「花影」などを、そして秋には「竹の歌」などを演奏発表しています。

山梨県 鳴沢村 梶原正子

### <三味線グループ

#### 「三花会」を指導して>



1996 年、横浜市教育委員会主催、「五線譜による三味線指導」の講習会の指導を依頼され、終了した小・中・高校の教師達が私を指導者として「三花会」という三味線グループを結成以来 17 年、月 2 回学校教務終了後の夜研鑽を継続し、小・中学校への出前授業、横浜市音楽教師研修会、横浜美術館ロビーコンサート、フェリス女学院大学ボランティアセンター主催チャペルコンサート(写真)等に毎年出演し、啓蒙活動に励んでおります。

横浜市 杵屋花邦



### <自然の建物のなかで自然の楽器で演奏を>



12 月 1 日(日)「木力館」にて演奏してきました。この建物は元は国産の木材に大変こだわりのある材木商が、釘は極力使わず「無垢の木と自然素材」だけを使って建築しました。天然木で作られた楽器のみでコンサートを開催しています。地元の方々を中心に多くの方にお越し頂き、和やかなひと時となりました。

さいたま支部 日本文化の会 代表 戸塚順子

# 各地の活動報告

## 「認定子供園」で楽しく箏を弾く園児たち

(学) 小牧幼稚園園長 小林牧江

昭和 41 年伝統文化の継承を目的として、個人立幼稚園を 21 歳で設立しました。昭和 54 年より学校法人として、また平成 19 年に保育園を併設しました。平成 23 年のあの東日本大震災で耐震園舎を強く希望していた所、その年の 12 月 23 日に文科省から埼玉県学事課を通して連絡をいただき、条件として



24 年度中に完成出来る園舎であること、耐震診断を受けること、園舎が 30 年以上経っていること、「認定子供園」にすることが条件は全て満たしていました。さて「認定子供園」の問題点は保育にける子供を朝の 7 時から夜 7 時まで預かるという点です。今まで当園では時間外保育で預かってきましたので、職員配置も簡単に出来ました。いよいよ工事日程が決まり、工事が始まりました。園児たちは大型クレーンを見てワクワクと楽しみにしていました。ところが敷地内に水が湧いた為基礎のやり直しがありました。ところが 25 年 3 月に完成致しました。建物の特徴は、外観は夢のあるヨーロッパ風で 2 階は天井を高く各部屋をオープンルーム、ランチルーム、厨房、3 か所に子供コーナー、図書コーナー、エレベーター、廊下を広くとり遊戯室、舞台、外廊下にプールなど、私の考えていた通りの園舎となりました。園児たちはハダシ教育の中で、箏でミッキーマウスマーチなど大好きな曲を 5 曲覚えて、「君が代」を歌って卒業して行きます。お誕生日会で箏とピアノ伴奏で、「ふるさと」と「富士山」を歌った時も「いい音だね! 私もやりたい」と言ってくれました。とてもかわいらしい園児たちに囲まれて、理想的な園舎の中でこれからも日本の伝統文化を大切に頑張ってお伝えして行こうと思います。



## ♪いつでもどこでもだれでも楽しく弾ける琴をめざして 石森康雄



少しでも琴という楽器を身近に感じてもらいたい・・・これからの時代に琴の指導者として活動して行くために、私の長年考えていることを記すのでひとつの参考意見として見てほしい。私の主催する邦友会琴音楽教室の 48 年間の活動より実践例を紹介する。①使用する楽譜は五線譜(絃名譜では絃の場所はわかるが音はくみとれない)五線譜で弾くことによりどんなジャンルの曲でも弾ける。琴の上達が早い②中柱を使用 (中柱とは子供や年配の人でも押し手の強押しがかたんに正確な音で出せる。押し手の革命と言っても過言ではない。上級者にはかなり早い曲や押し手の多い曲も楽にこなせる。③数小節をトレモロで弾くのではなく全曲をトレモロで弾き通すことが出来る。合奏が豊かになる。④以上のことだけを見ても私の指導している琴音楽をイメージしてもらえるだろうか。大切なことは琴を教える指導者の意識が変化してほしいということである。そうすれば琴をもっと習いたいと思う人がたくさんいることを実感している。そのためのノウハウはいくらでも提供するつもりでいる。私を上手に利用してほしい。これからの時代を生き抜く琴音楽指導者に 出会いたい。(※文中琴という字を使っている。箏と琴は違うものに分類されるが一般的にわかりやすい字としてこと「琴」の字を使っている。)



中柱の図

## <神田囃子を組込んだ曲で 10 年邦楽指導>



日本橋葵神田囃子保存会会員  
箏曲七声学院長 仲林光子

私が東京都中央区の阪本小学校で邦楽の指導を始めて 10 年が経過しました。音楽の小野教諭からの依頼がきっかけです。地域で発展させたい神田囃子を組み込んだ曲を作って欲しいとの事、私は彼女の熱意に応え曲作りを開始しました。江戸讃歌、和の国讃えて、他 6 曲を作曲しました。4 年生から 6 年生まで毎年 4 月から教えて夏に TBS こども音楽コンクールに出場させる。この繰り返しが続いています。昨年は創立 140 周年記念式典で和の国讃えて、を元気に演奏してくれました。羽ばたく子供達へのプレゼントは私に沢山の夢を返してくれています。



## 第 2 回全国邦楽合奏フェスティバル

2011 年に全国の邦楽家有志で立ち上げた NPO 法人「全国邦楽合奏協会」(全奏協)のメインイベントとして、昨年、第 1 回のフェスティバルを徳島県阿南市で国民文化祭の事業の 1 つとして開催いたしました。第 2 回は全奏協の主催事業として東京三鷹市公会堂で 2 月 1 日、2 日に開催いたします。おかげさまで、邦楽指導者ネットワーク 21 様をはじめとして全国より演奏グループ 35 団体、講習会を含め延べ 460 名を超える方が演奏に参加するフェスティバルとなりました。また、併設のコンサートとして作曲家グループ邦楽<2010>の高校生から集める曲を集めた本年度作品の演奏会、「びかむ」による合奏技術のワークショップ、苦米地英一氏による 2 つの講習会をはじめとして、楽器メーカー/楽器商による楽器製作実演やクラフト、未公開を含む楽譜、CD 展示や販売。演奏者、指導者のための大学機関によるワークショップ等 2 日間に渡って様々なイベントを開催いたします。演奏や指導をされる方にとって新しい発見や出会いの場として、是非、皆様のご来場をお待ちしています。 実行委員長 立花茂生

## 平成 26 年 2 月 2 日「全国邦楽合奏フェスティバル」に参加します!



NPO 全奏協の事前説明会に出席しました。実行委員や参加団体の方々と顔を合わせ、自己紹介をし、会場の様子やスケジュール等についてはプロジェクトで映し出された資料を見ながら説明を受けられたので、当日の舞台演奏を具体的にイメージすることができました。私達狛高箏曲部 OG と現役生は狛江支部として牧野由多可作曲「春の詩集」を演奏致します。練習を重ね本番で良い演奏ができるよう頑張りたいです。

狛江支部 中村里子・菅沼 恵

## <福島県の高齢者も頑張っています>



須賀川市の各公民館では 60 歳以上の方々の教室を開催しています。10 回コースがほとんどで(常に新たな発見を求めて)そんな言葉が目に入ってきます。その教室の開講式や閉講式によく箏の演奏を頼まれます。また、郡山市でも施設に入居している 70 歳以上の方々も元気で、箏を聞きに集まります。何かを学び、何かを手がけようとする前向きさが伝わります。年齢に関係なくチャレンジする姿勢には私たちが力を頂いています。



須賀川支部桐音会代表 後藤礼子

明けましておめでとうございます。

NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 副代表理事 西角井 正大



さて、今年の講習会は山本邦山さんを迎えて北九州ということですので、広く筑紫と捉えさせていただいて「琴」の詞のある歌謡を取り上げて興を膨らませていただきます。「酒は呑め呑め呑むならば 日の本一のこの槍を云々」の歌い出しで有名な「黒田節」ですが、「峰の嵐か松風か 尋ねる人の琴の音か 駒をひかえて聴くほどに 爪音しるき想夫恋(そうふれん)」という歌詞があります。平家物語の巻第六の「小督(こごう)」に因むものです。琴の名手で、宮中第一の美人。青年貴族との恋と、帝(みかど)の寵愛の狭間に悩んで嗟嘆に隠れるのですが、諦め切れない帝が小督の琴の笛の相役・仲国を小督探しにやるのです。

そのことを歌った歌詞です。帝は仲国により駒を与えています、今年はずうど午年。「黒田節」は「筑前今様」ともいわれ、原曲は雅楽の「越天楽」。「想夫恋」も雅楽の曲名です。「黒田節」のモデル・黒田武士は福岡藩初代藩主黒田長政の重臣。広島藩主福島正則の家宝の槍・日本号を酒でせしめました。長政の父が今年NHKの大河ドラマの主人公・黒田官兵衛です。この続きは5月に北九州でお会いしたときにまた・



### 狛江支部 箏曲正音会

代表 渡辺正子



狛江市は現在、市内の小学校4校と児童館・地域センターを会場に各団体がそれぞれ教室を開催し、舞台発表や展示会、そして施設訪問やボランティア活動更にワークショップなど狛江市の地域活性のため、一致団結して活動しております。当事業で3年間実施してまいりました「未来コンサート」も、多くの市民の皆様のご協力を得ることが出来、定着してきたことを実感しております。26年1月5日に狛江エコルマホールにて4回目を開催致します。

### 調布支部 調布市伝統文化伝承事業推進の会

代表 門傳良男



調布市では24年度から文化庁の採択を受け、今年度「文化遺産を活かした地域活性化事業」は、体験教室は第2団体、尺八1団体、生け花3団体、日本舞踊2団体、三味線2団体、百人一首1団体が教室を展開しています。和の出会いには、全参加団体が一堂に会し、舞台・展示発表と来場者の体験コーナーを併設し、行われており、26年1月5日に第2回目が開催されます。

### 加古川支部 椰の会代表 鈴木晴椰

実施会場の加古川市北公民館には開講するまで、広報活動や応募受付、楽器の安全な収納また夏休み中、中学校の楽器の無料提供等ご配慮頂き6月から月一度の5回コース(21名の親子)夏休み2回コース(小学生6名)更に1回小学校の音楽の先生方(13名)の体験教室でした。月に一度コースの3日目は前半の1時間を鑑賞会とし、一般の方々と共に邦楽の楽しみを知って頂く機会となりました。



各地の実施報告

### 富士宮支部 箏曲妙の会代表 佐野妙子

初めはぎこちない手付きで弾いていた4年生から6年生までのお箏教室の参加者は、毎回の練習日が待ち遠しい様子で今では「さくら、うさぎ、ふじ山、ドラえもん、アンパンマン」、等を弾くまでになりました。先日学校の「スタディーフェスティバル」で全校生徒の前で発表しました。先生方も「数回の練習でこんなに上手に演奏できるとは素晴らしい」と驚いていました。地元の富士宮で日本の伝統楽器を一人でも多くの人に伝えていきたいと思っております。



### 広島支部いちえの会

代表 沖田寛江

「伝統文化こども教室」から始まった教室も2013年度の地域活性化事業の助成を受け、引き続き教室に来た子供も7~8年がたち小学生だった子供たちが中高生になりました。文化祭や地域事業にも参加して準備から調絃・片づけ・楽器の取り扱い方までしっかり力をつけましたが、ほとんどが中学生までなので伝統文化の継承には程遠い感があります。地域に中高一貫校が出来るので同好会かサークルをぜひ作りたいと思っております。



### 小島町支部 邦楽みなのか

代表 原田真樹子



調布市立調和小学校で「伝統こども教室」に始まって、「伝統文化伝承こども教室」として7年間続けています。昨年6年間続けていた子が卒業し、今年も4人の「演奏だけでなく、片付けもパーフェクトに活動する頼もしい子どもたち」が卒業して、寂しい思いと「いつてらっしゃい！」という思いが半々です。どのような形でもいいので、また調和小学校の子どもたちと「伝統箏こども教室」を続けています。

### 加茂支部箏曲理音会

代表 高橋理香



加茂邦楽こども教室は、今年度で9年目となりました。3年前より、加え三絃の稽古も始め、小1~中2までの男女13名で稽古をしています。9月に加茂芸能祭へ参加。今は9回目となる新春ロビーコンサートでの発表に向け練習中です。継続率が非常に高いこともあり、私は9年間、こども達の成長を見守りながら楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。心より感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

## 第10回 2014年合奏講習会in北九州・八幡

とき 2014年5月24日(土)~25日(日)



三方を海に囲まれ、瀬戸内海国立公園、玄海国立公園などの美しい湾岸線が広がる緑豊かな景勝地、北九州市にある『北九州八幡ロイヤルホテル』で、記念すべき10回目の合奏講習会を迎えることとなりました。ゲストには、人間国宝・山本邦山先生と、ご子息の山本真山先生のお二人をお招きし、尺八二重奏の『対動』、箏・十七絃合奏曲の『桐韻』を、作曲者の邦山先生直々のご指導を賜ることのできる、たいへん豪華な講習内容となっております。田村先生との対談コーナーでは、コンサート時の緊張感とはちがった和やかな雰囲気の中で、さまざまな貴重なお話が伺えそうな予感がします。宿泊ホテルは温泉(八幡ひまわり温泉)でサウナもあり、市内最大のレジャー&シティホテルです。隣接するスペースワールド(徒歩8分)や、国際貿易港として華やかな時代を担った門司港、港湾を背景に「モノづくりの街」として発展した工業都市の煌めく夜景観賞等々、北九州市は見どころも満載です。地元にお住まいの東島啓子理事・加奈会員のご尽力により現在、準備は着々と進められております。

合宿実行委員: 小林千恵子

